



女のしんぶん

(♫は私・女の日・友愛を意味します)

2009年5月10日

発行所 ♫ 女性会議

〒113-0033 東京都文京区本郷1-33-3 東プロビル

03(3816)1862 FAX03(3816)1824

E-mail: onnano-shimbun@tcn-catv.ne.jp

毎月10日・25日発行 1部月300円(送料別・120円)

振替口座 00170-0-99031

次号のお知らせ

5月3日の憲法集会の内容を報告します。

海外研修生の

日本語教師、橋

本由紀江さんは

3年前、経済協

定でフィリピン

から看護師・介

護士の候補者が

日本に来ることを

知った。ところが

日本語の研修期間

はわずか6カ月。

その後の施設や病

院での研修に、国

は日本語教育も就

労サポートも予定

していなかった。

「これでは日本に

来た人たちが現場

で困るのは目に見

えている。自分た

ちで何かできる

ことはないか、と

日本語教師の仲間

と話し合いました」

介護についてはま

ったく素人なので、

勉強のために介護

施設に行ってみ

ると、漢字があふ

れている。日常会

話ができるようにな

っても、漢字がわ

う概念さえない。また平均余命が

60歳そこそこと高齢者が少ない上

に、通常、家族でお年寄りを看る

ので介護職が存在しないのだ。

橋本さんらは現場で使われる漢

字を一つひとつ拾い出し、インド

ネシアの人と相談しながらインド

ネシア語をあてはめていくという

大変な作業を行い、日本語指導グ

ループ「Y」による『介護の言葉

と漢字ハンドブック』ができた。

介護で使われる言葉の対訳集を作った

日本語教師 橋本 由紀江さん



英語版も最近完成し、次に来日

するフィリピンの人たちにも役立

てることができる。「これからも自

分たちがもっているノウハウを発

信して、日本に来た人をサポート

したい」と言う橋本さん。こうした

誠意が人と人との真の国際交流に

つながっている。(岡田 真紀)

対訳集の問合せ：☎03(3222

5) 6591 (国際厚生事業団)